

はしがき

『比較地域大国論集』は、新学術領域研究「ユーラシア地域大国の比較研究」（2008～2012年度）の研究成果を発表する媒体として創刊されました。本領域研究は、ロシア、中国、インドなど、ユーラシアの地域大国を総合的に比較するものです。このために、国際関係、内政、経済、帝国論、社会、文化の6つの視点からの計画研究を設けています。これらの視点から、上記の諸国が地域大国として発展・定着できる条件が何であるのか、それを妨げるような不安定要因は何であるのかを明らかにします。また、超大国とその他の国々の間に、地域大国という「中間項」を挿入することによって、世界を理解するうえでの新たな視座を確立し、その視座から現代世界の様々な問題（民族紛争、宗教対立、格差と貧困など）について検討しようというものです。より詳しくは、本領域研究のホームページをご覧ください（アドレスは、奥付参照）。

本誌は、今後不定期に刊行しますので、掲載希望がありましたら、各計画研究の研究代表者あるいは事務局までご連絡ください。

この創刊号には、3月4日に北海道大学で開催された本領域研究の初めての全体集会における3つの報告を収録します。この全体集会では、パート1で領域代表者と6つの計画研究の研究代表者が今後の抱負について短く述べた後、パート2において、3人の識者の方々に本領域研究に対する期待を自由に語っていただきました。お話いただいたのは、猪口孝（中央大学、4月から新潟県立大学学長）、長崎暢子（龍谷大学）、沼野充義（東京大学）の3先生です（ご専門等につきましては、巻末の講演者紹介をご覧ください）。本領域研究のなかで何をやらなければならないかについて、あらためて考える機会を与えていただきました。なお、司会は、林忠行・北海道大学副学長にお願いしました。

2009年5月1日

領域代表者 田畑伸一郎